

明るく 元気に 前向きに

第6号

いわき市立藤原小学校 (文責 校長・伊達多津也)

7月がスタートしました。金曜日は、授業参観日です。1学期はじめの授業参観日からの、お子さんや学校の様子を見つけていただければありがたいなあと感じています。「手があがるようになったね。」「先生の話真剣に聞いている姿、すばらしい。」「習字がしっかりと書けているね。」等々、ぜひ良いところを見つけて、褒めてください。校長から見ても、この1学期間だけで、学級内の学習の落ち着きと伸びを感じています。

大健闘！！ 陸上大会



「6年生とは、たった1年間」

「短い時間だからこそ、濃い関わりをしたい」

校長として、6年生とのかかわりを特に大切にしたい思いがあります。

陸上大会の練習や本番でも、なるべく近くで「見て」「励ましていきたい」という思いで関わってきました。

大会当日は、役員のため応援を控えようとも思いましたが、子ども達の頑張る姿に思わず熱くなってしまいました。参加した19名全員の競技をしっかりと見て、応援することができました。全ての子が真剣でした。

- ・自分が設定した自己ベストが出せた。
- ・入賞することができた。

成績以上に、真剣に競技に挑む表情やスタンドから応援する姿がすばらしかったです。

6年生の感想の中に多かったのが、「1年生から5年生の応援により頑張ることができた。ありがとうございます。」というものでした。全校生が6年生のことを知っているという本校の良さがにじみ出ている感想だと感じます。

さらに、6年生の感想に、「最後の男子リレーでは、見ていて鳥肌が出てきました。」とあるように、3人でうまくつないだバトンをアンカーがぐんぐんと加速しての1位でのゴールは、圧巻でした。藤原小健児の底力です

多くの保護者の方に、応援と支援をいただきました。子ども達を応援する保護者の皆様の思いを受け止め、これからの学校生活にも力を注いでいかねば、と強く感じました。

6年生！ 最高でした！

ご意見

よろしくお願いします

第1学期の教育活動を振り返り、来学期や次年度にいかしていく反省の時期です。教職員のみでの反省ではなく、保護者の皆様の学校の取り組みに対するご意見やご感想をいただくために、アンケートをとります。改善が必要と感じる点や良くなってきたことも含めて、率直にご回答いただきますようお願いいたします。無記名による回答とします。

【校長のひとりごと】 きちんと挨拶することが 自分を守る

元気に朝の挨拶をしている子が少ないこと、こちらから何度も挨拶をしても全く反応もない子がいること、このことは本校の課題であると感じています。子ども達と一緒に登校していると、散歩中の方や家から出て見守ってしてくれる方、交通安全の立哨指導をしている保護者の方への挨拶も、望ましい姿からは遠いと感じます。(不思議ですが、学校内に入ると挨拶できている子が増えるのです)

普段からしっかりと挨拶をしていることが、不審者から自分の身を守ることにもつながります。挨拶ができていないと、とっさの時に、「だれか 助けて下さい。」という声が出てこないからです。挨拶は子どもの身を守ることにつながります。